

つかってみよう！

# iPadスタートガイド



## はじめに

1人1台のiPadを使った学習が始まります。

iPadで、どんなことをしてみたいですか？

どんな学びが待っていると思いますか？

さあ、いっしょにiPadを使ってみましょう。

# iPadで できること



プロジェクトに  
つないで、作った  
資料を見せる



インターネットを  
使った調べ学習



- ・文章を書く
- ・発表用の資料を作る



絵をかく



写真・動画をとる  
画像を加工する



オンラインで  
学習する

# iPadを使う時の約束

学校のiPadであることを  
わすれずに！

- 1 手を洗ってから使いましょう。
- 2 ぬれた手や、エンピツなどでさわらないようにしましょう。
- 3 カバーを付けたまま使います。  
使わないときは、カバーをとじておきます。
- 4 画面がよごれた時は、やわらかい布でふきます。  
(ぬれたぞうきんやティッシュではふきません)
- 5 学習など、必要なこと以外で使わないようにします。
- 6 目とiPadの画面との距離を30cm以上はなします。
- 7 30分に1回は、20秒以上遠くを見るなどして、  
目を休めます



# iPadの名前



※充電する時は、ライトニングコネクタにコードをさします。

# iPadの画面

## アイコン

画面に表示されるマークをアイコンと呼びます



今、表示されているページを示しています。図では、1ページ目が表示されています。

使ったアプリが表示される場所です。ここからアプリをはじめることもできます。



全部で4ページあります。どんなアプリがあるか見てみましょう。

# じゅんぴ iPadの準備①



- 電源ボタンを長押しすると、電源のオン、オフができます。  
※電源をオフにする必要はありません。



- ライトニングコネクタは大事なところです。  
さわらないようにします。
- 下に貼ってあるシールは、はがさないようにします。  
※はがれたら先生に言います。

# iPadの準備②



- ① カバー背面のキックスタンドを開いて、机の上に置きます。



- ② カバーをとめているラッチを外して、キーボードを開きます。



電源ボタンを長押し

- ③ 電源が入っていない時は、電源ボタンを長押しします。

# iPad 使い方のパターン

## a. 書くモード



基本の使い方です。キーボードを使って文字を入力することができます。

## b. 手書きモード



iPadに指やタッチペンで文字を手書きしたい場合の使い方です。

## c. 見るモード



友だちの発表スライドや動画を見るとときなど、キーボードが必要ない場合の使い方です。

## d. 撮るモード



カメラ機能を使う場合は、キーボードを後ろに折り曲げると撮りやすくなります。

夢中になって、キーボードを押さないように！

# iPad やってはいけない使い方



## × キーボードぶらぶら持ち

- このような持ち方をすると、キーボードが使えなくなってしまいます。
- 持ち運ぶ時は、必ず、カバーをとじるようにしましょう。



## × キーボードつぶれる置き

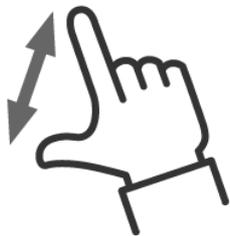
- 手書きをする時、図のようにキーボードを下向きにして置いてしまうとキーボードがこわれたり、勝手に字が入力されたりします。
- 「手書きモード」の置き方をしましょう。



そうさ

# iPadの操作の仕方

指をつかって、iPadを操作することができます。

ジェスチャ	操作の仕方	ジェスチャ	操作の仕方
	<p>1. タップ</p> <p>1本の指で、画面を軽くタッチします。 ※何かを選ぶ</p>		<p>2. ダブルタップ</p> <p>1本の指で、トントンと2回画面をタッチします。 ※何かを決める</p>
	<p>3. スワイプ</p> <p>画面の上で1本の指をすばやく動かします。 ※画面をきりかえる</p>		<p>4. スクロール</p> <p>画面から指をはなさずに1本の指を動かします。 ※画面をうごかす</p>
	<p>5. ズーム (大きく)</p> <p>2本の指を画面の上に置いて、指と指の間を広げると大きくなります。 ※ピンチアウトとも言います</p>		<p>6. ズーム (小さく)</p> <p>2本の指を画面の上に置いて、指と指の間をせばめると小さくなります。 ※ピンチインとも言います</p>

※色々な呼び方がありますが、iPadユーザーガイドの言葉を使っています。

# コントロールセンターについて

画面の右上からスワイプすると、コントロールセンターが出ます

## 【さわらない】

ここをさわると、インターネットにつながらなくなることがあります。

## 【画面の向き】

画面の向きをかえたい時に使います。タップして、白くなったら向きを変えられます。



## 【明るさ】

画面の明るさをかえます。

## 【音量】

音の大きさをかえます。



# iPadを使ってみよう！

1. カメラアプリを起動する
2. 写真をとる
3. Sketches Schoolを起動する
4. 写真を取りこんで、文字を書く
5. スケッチを試してみる

---

1～5までのすべてをする必要はありません。  
できるものにチャレンジしてみましよう

# 1 カメラアプリを起動する

①iPad 1 ページ目の「カメラ」をタップします



②カメラ画面です。

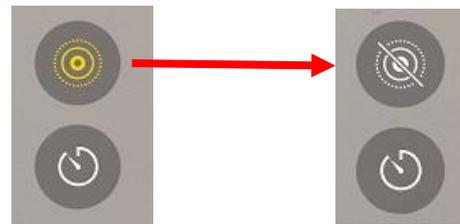


## 【ポイント】

◇Live Photosは切っておく！



- ・ Liveというボタンを押して、OFF（白くなる）にしておきましょう。
- ・ 画像サイズが大きくなることを防げます。

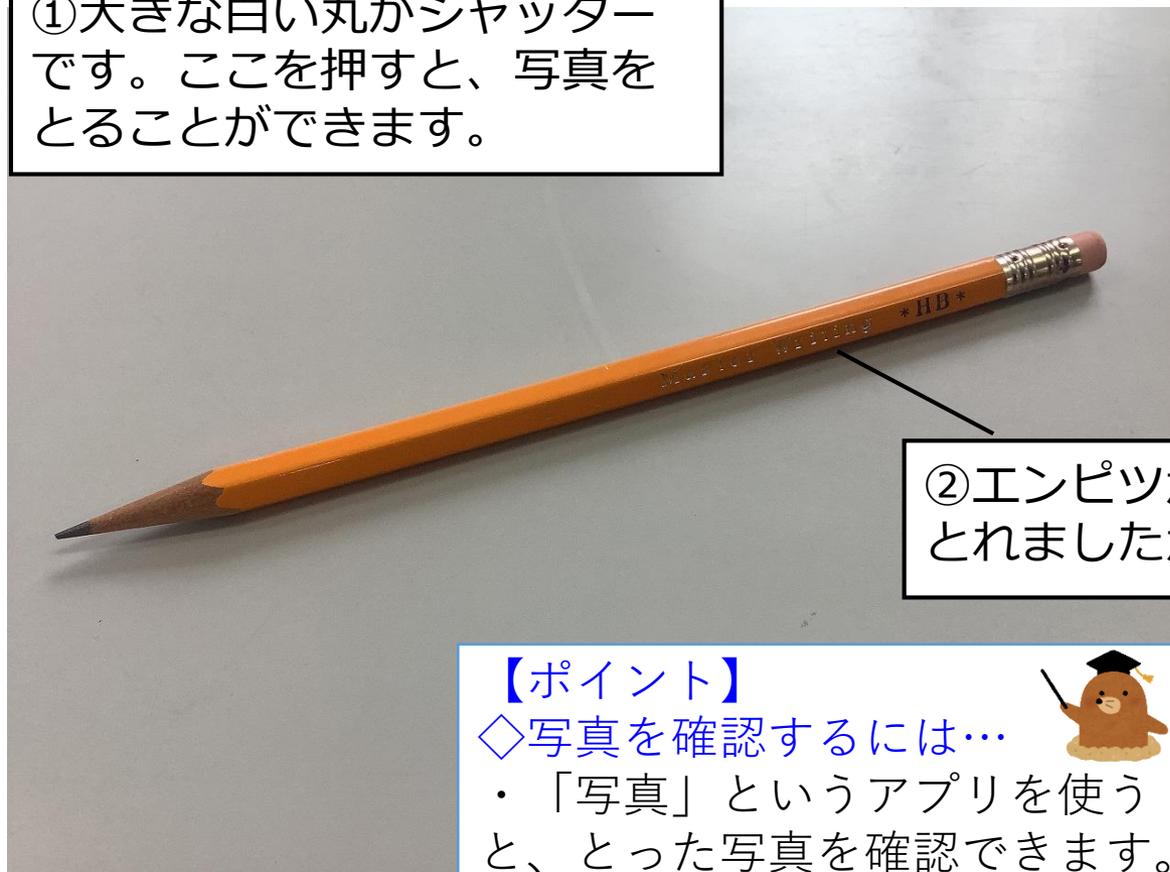


## 2 写真をとる

つくえの上にエンピツなどを置いて、写真をとってみましょう。



①大きな白い丸がシャッターです。ここを押すと、写真をとることができます。



②エンピツが上手にとれましたか？

### 【ポイント】

◇写真を確認するには…



・「写真」というアプリを使うと、とった写真を確認できます。

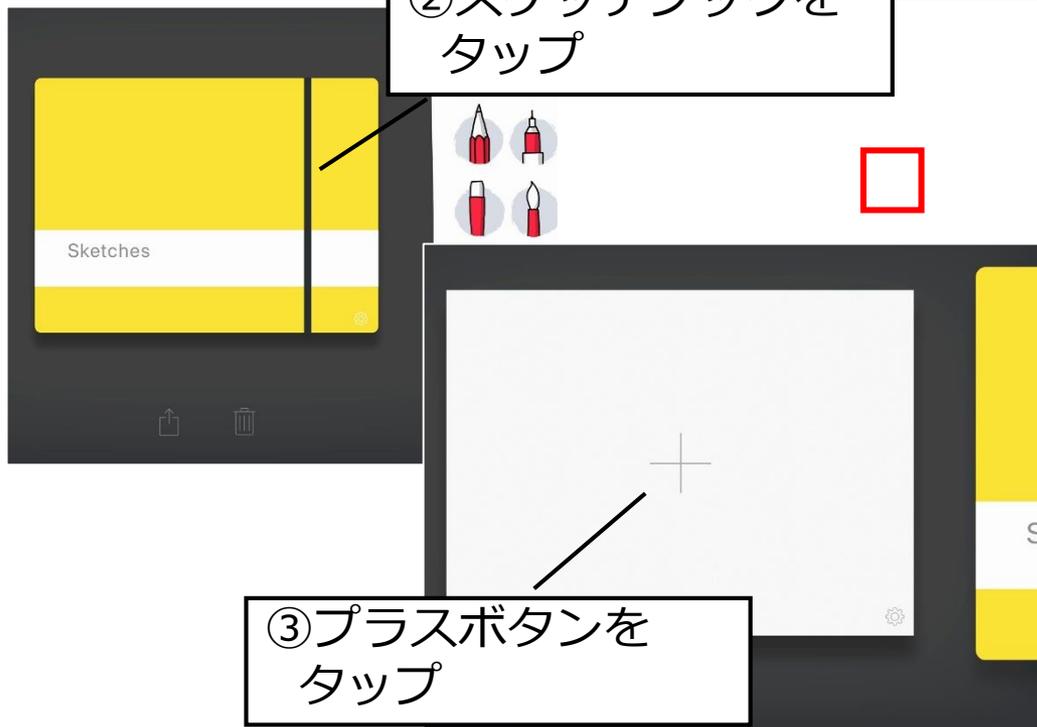


### 3 Sketches Schoolを起動する

①iPad 2 ページ目の「Sketches School」をタップします



②スケッチブックをタップ



③プラスボタンをタップ

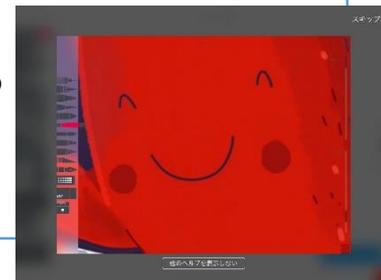
#### 【ポイント】

◇使い方が表示されます。



・初めて「Sketches School」を起動した時は、使い方についての動画が表示されます。

・最後まで流れたら「スキップ」をタップします

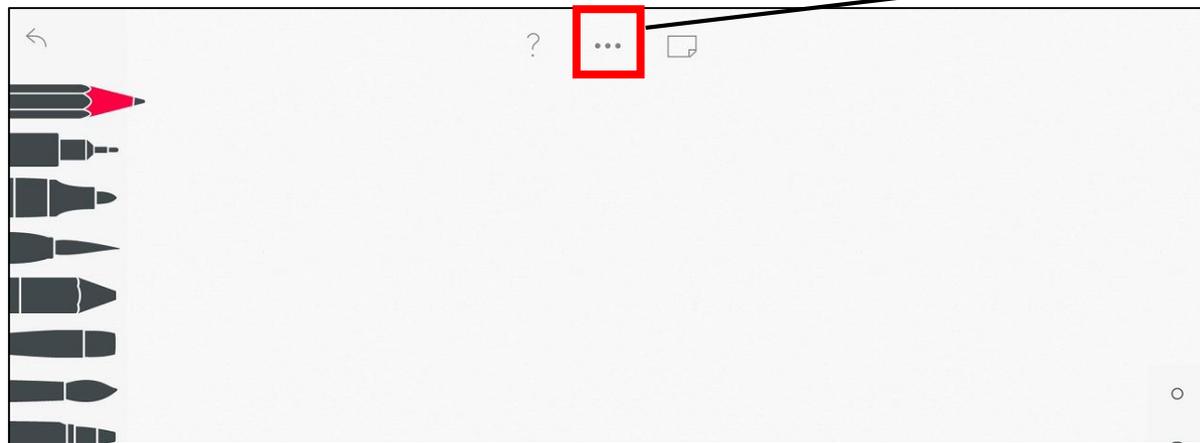


## 4 写真を取りこんで、文字を書く

①画面の上の方にある「…」をタップする

②画面の上の方に出てくる「↓」をタップする

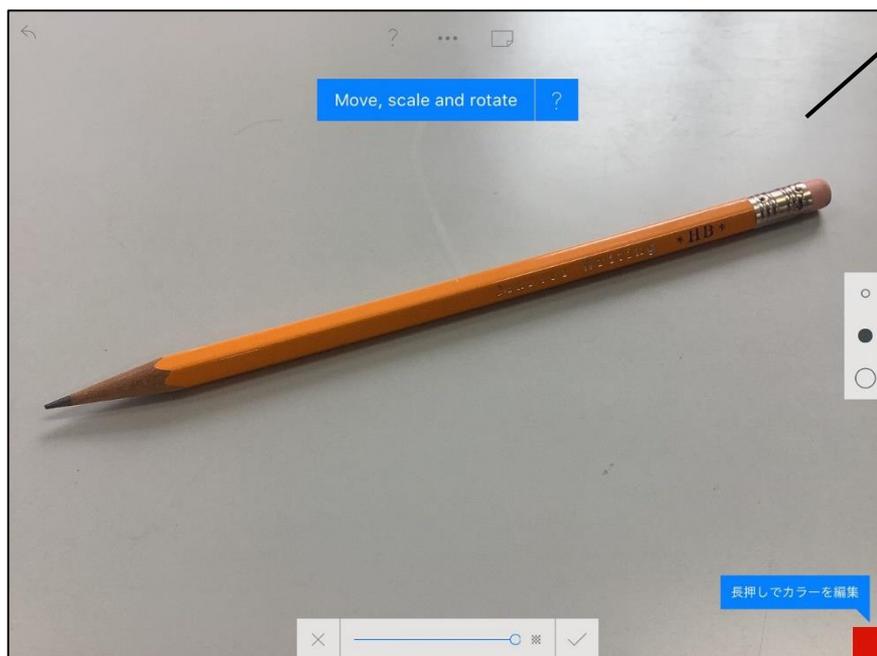
③画面の真ん中に表示される中から「写真」を選ぶ



## 4 写真を取りこんで、文字を書く

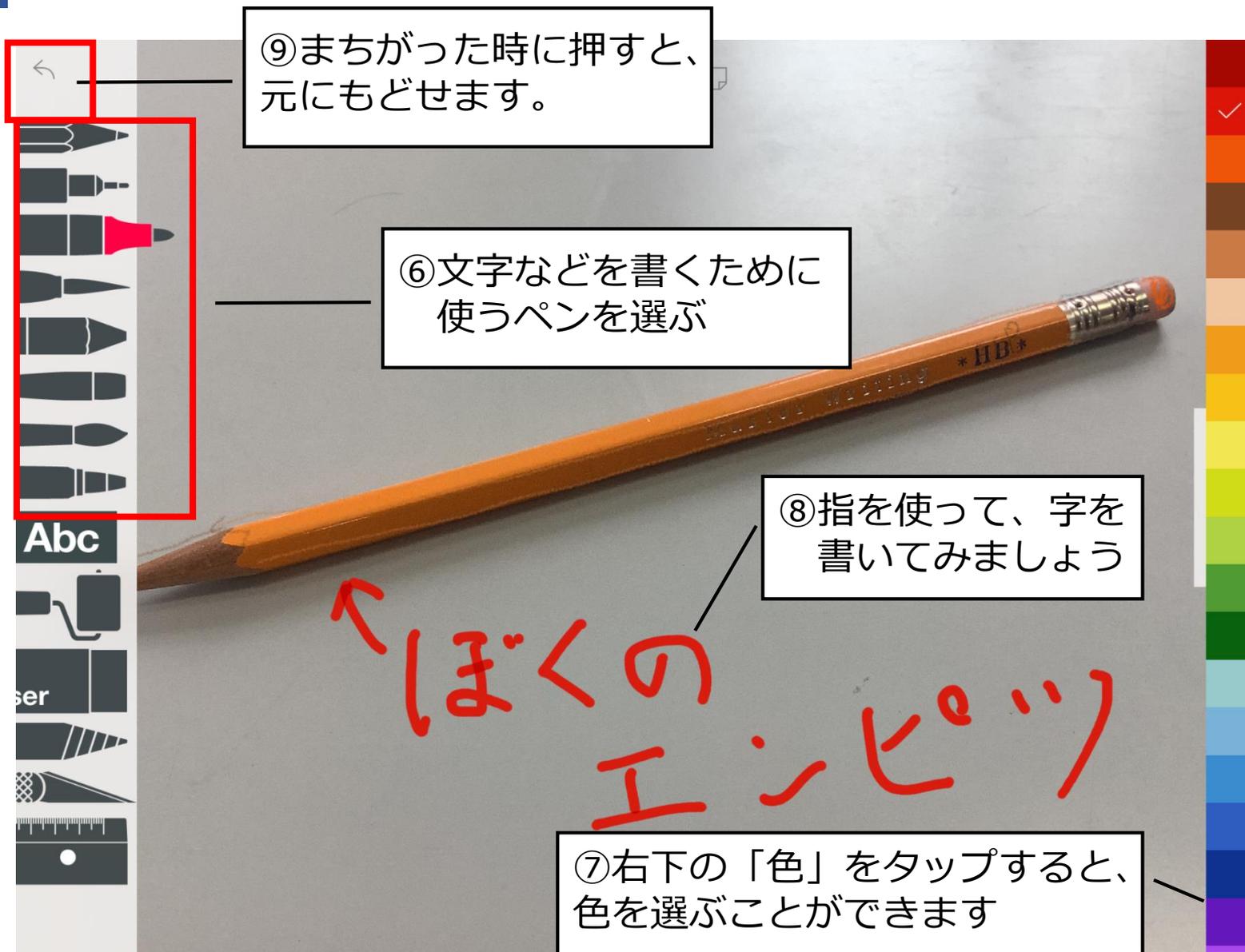


④取りこみたい写真を選ぶ

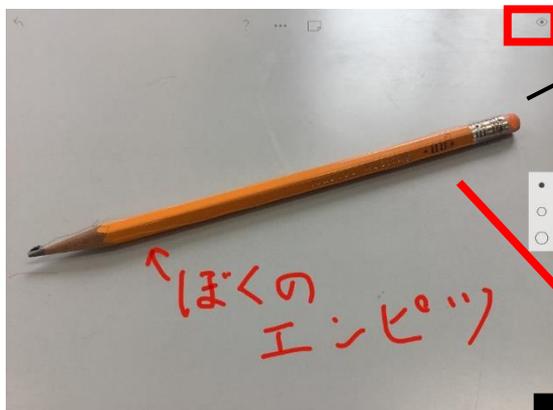


⑤写真が取りこまれました

## 4 写真を取りこんで、文字を書く

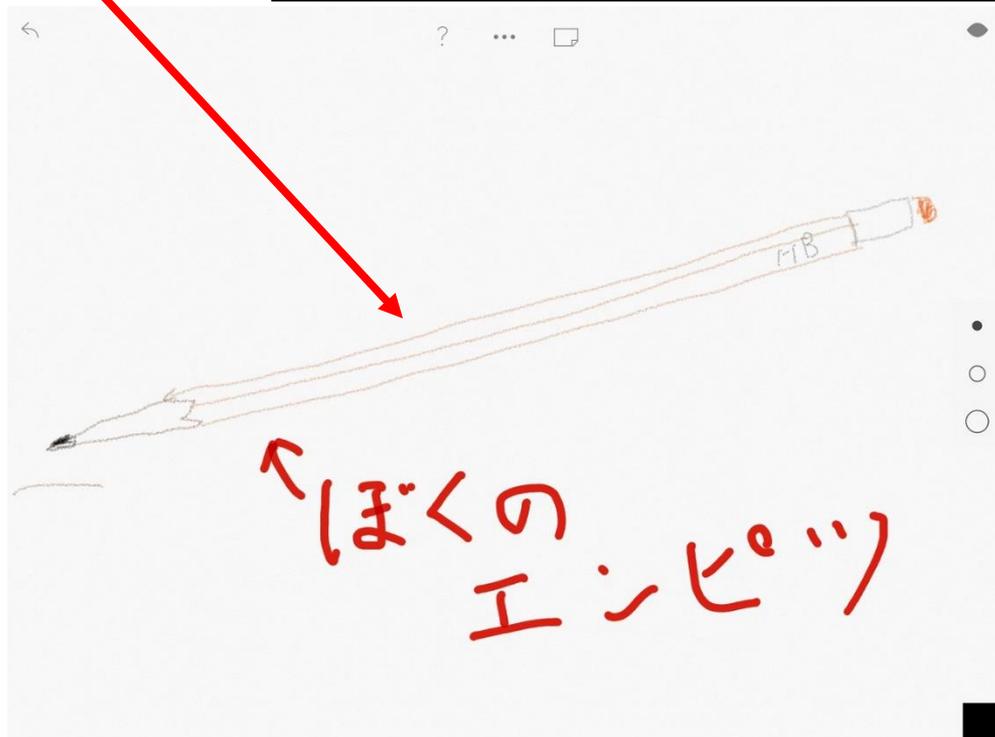


## 5 スケッチをしてみる



①  ←このペンなどを使って、写真のエンピツ部分をなぞってみましょう。

②画面右上の「目」をタップすると、写真が消えて、文字とスケッチだけが残ります。



### 【ポイント】

◇ペンが使えます。



・Windowsで使っていたペンが、iPadでも使うことができます。

・チカラはいらないので、優しく使いましょう。



# iPadの片付け方①

②電源ボタンを軽く押して、画面を暗くします。  
(電源を切る必要はありません)



①ホームボタンを押して1ページ目にもどします。

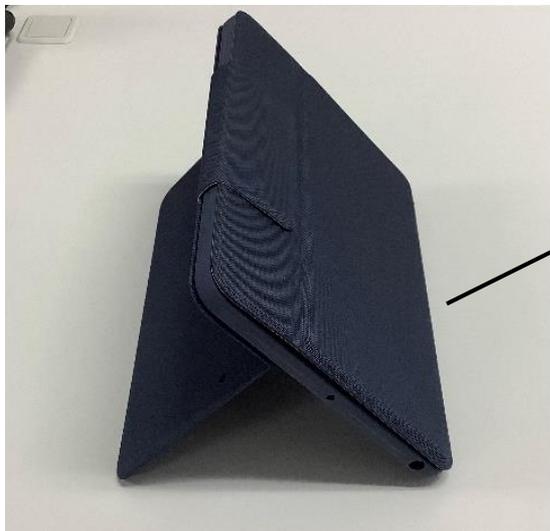
## 【ポイント】

◇アプリは終わらなくていいの？

- ・ホームボタンをダブルタップ（2回、はやくおす）と、今までに使ってきたアプリの画面が表示されます。
- ・画面を下から上にスワイプすると、「終わった」ように見えますが、実際は、スタンバイ状態になっているので、毎回、この作業をする必要はありません。
- ・アプリがうまく動かない時だけでよいです。



## iPadの片付け方②



③キーボードカバーをして、しっかりとめます。背面のキックスタンドもしっかりとじます。

④ライトニングコネクタに、充電ケーブルをしっかりとつけて、保管庫の自分の場所にもどします。

### 【ポイント】

◇しっかりさしましょう！



・ケーブルがしっかりとささっていないと、充電されません。



使ってみましょう！ 🎓



Apple HP <https://www.apple.com/jp/education/k12/>